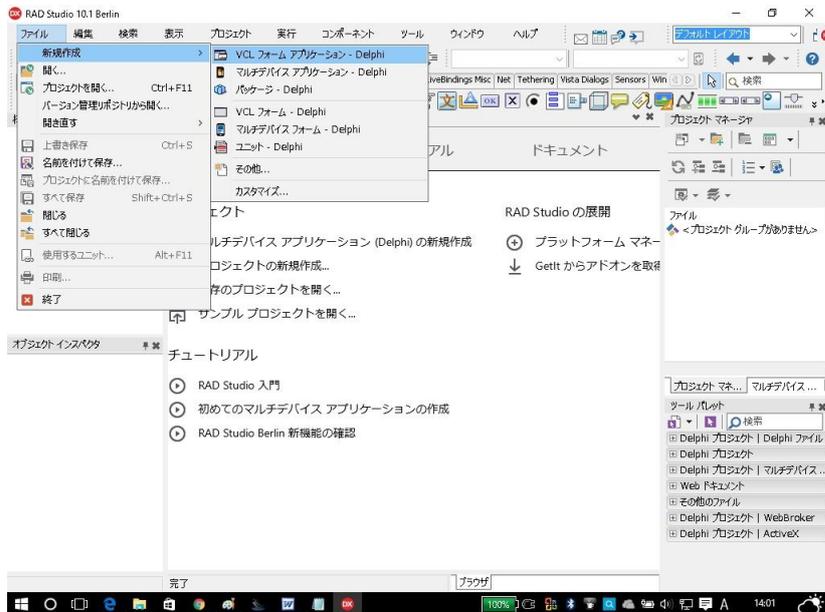


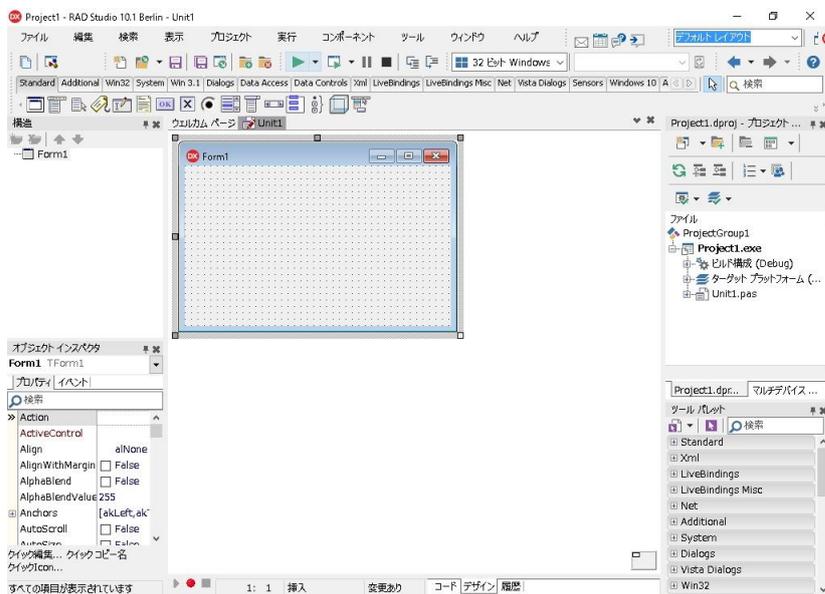
## Embarcadero の Delphi による Windows アプリケーションの開発

### ■ 04 : メモ帳の作成

01 : 「ファイル」「新規作成」「VCL フォームアプリケーション」を選択します。

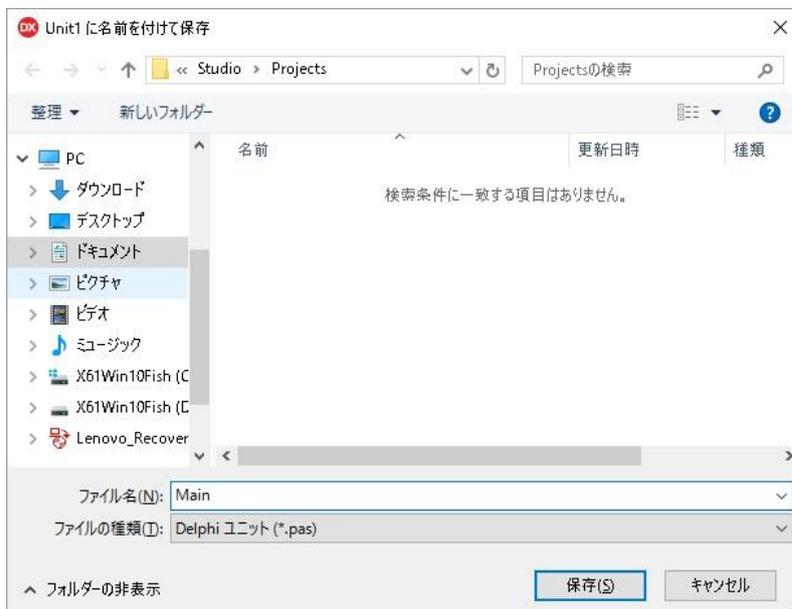


02 : 「フォーム」が表示されます。

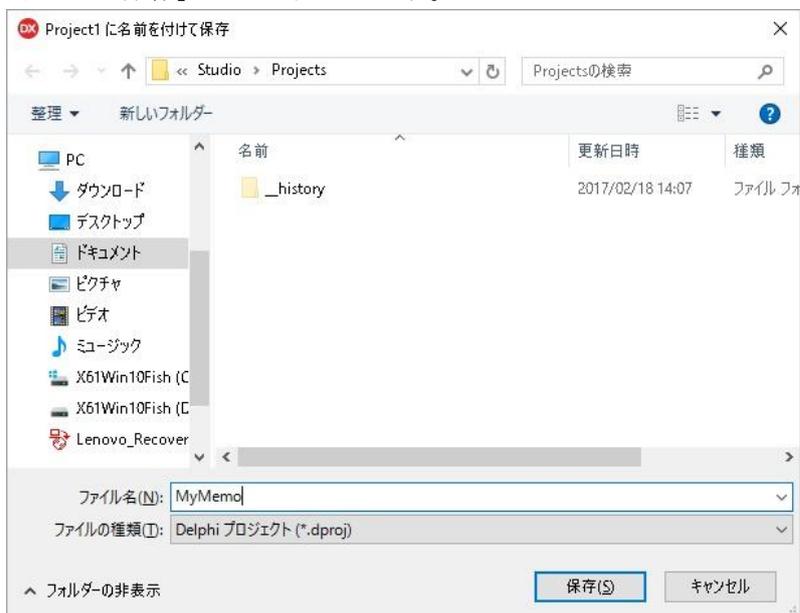


03 : 「ファイル」「プロジェクトに名前を付けて保存」を選択します。

04 : 「名前を付けて保存」のダイアログが表示されたら「ファイル名」に「Main」と入力して「保存」をクリックします。



05 : 「名前を付けて保存」のダイアログが表示されたら「ファイル名」に「MyMemo」と入力して「保存」をクリックします。



デフォルトでは「C:¥Users¥ユーザ名¥Documents¥Embarcadero¥Studio¥Projects¥」に保存されますので、事前に「C:¥Delphi¥Projects¥MyMemo」のフォルダーを作成して、ここに保存してください。

06 : 「フォーム」の右下をクリックして大きさを変更してください。

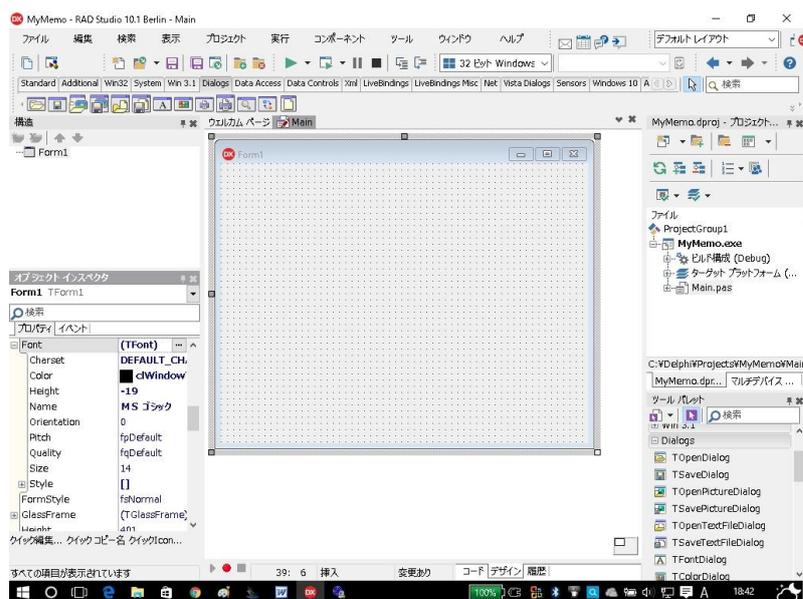
07 : 「ファイル」「全て保存」を選択して保存してください。

08 : 「ファイル」「全て閉じる」を選択して閉じてください。

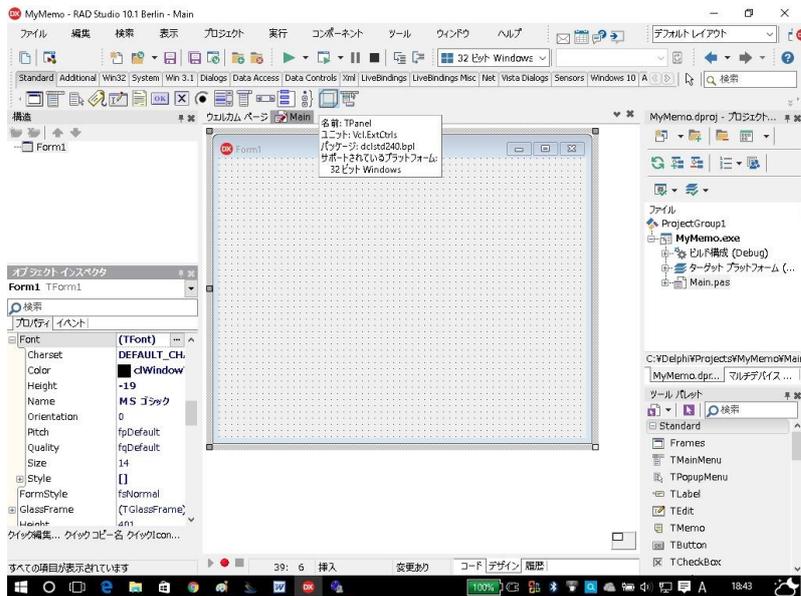
09 : 「ファイル」「開き直す」で前回のプロジェクトを選択してください。

10 : 左上の「構造」で「Form」をクリックします。

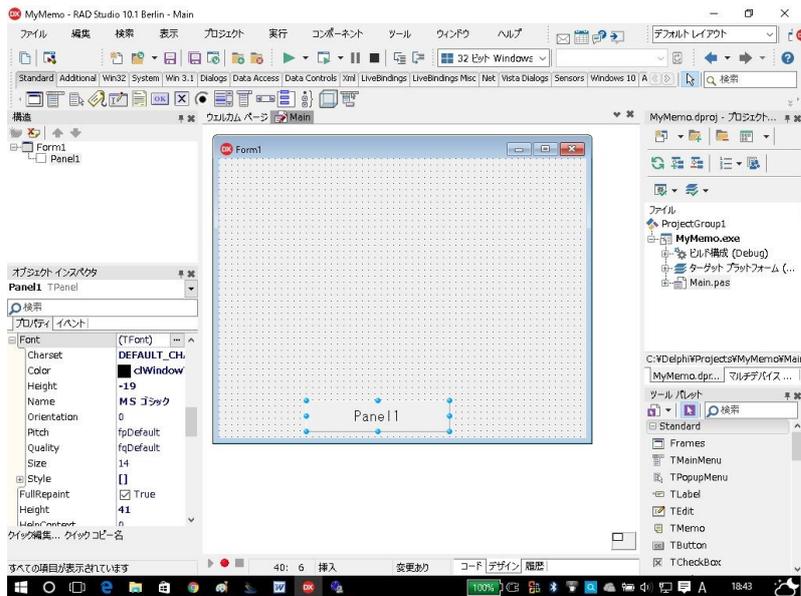
左下の「オブジェクトインスペクタ」の「プロパティ」タブの「フォント」の左をクリックし、「サイズ」を「14」に変更します。



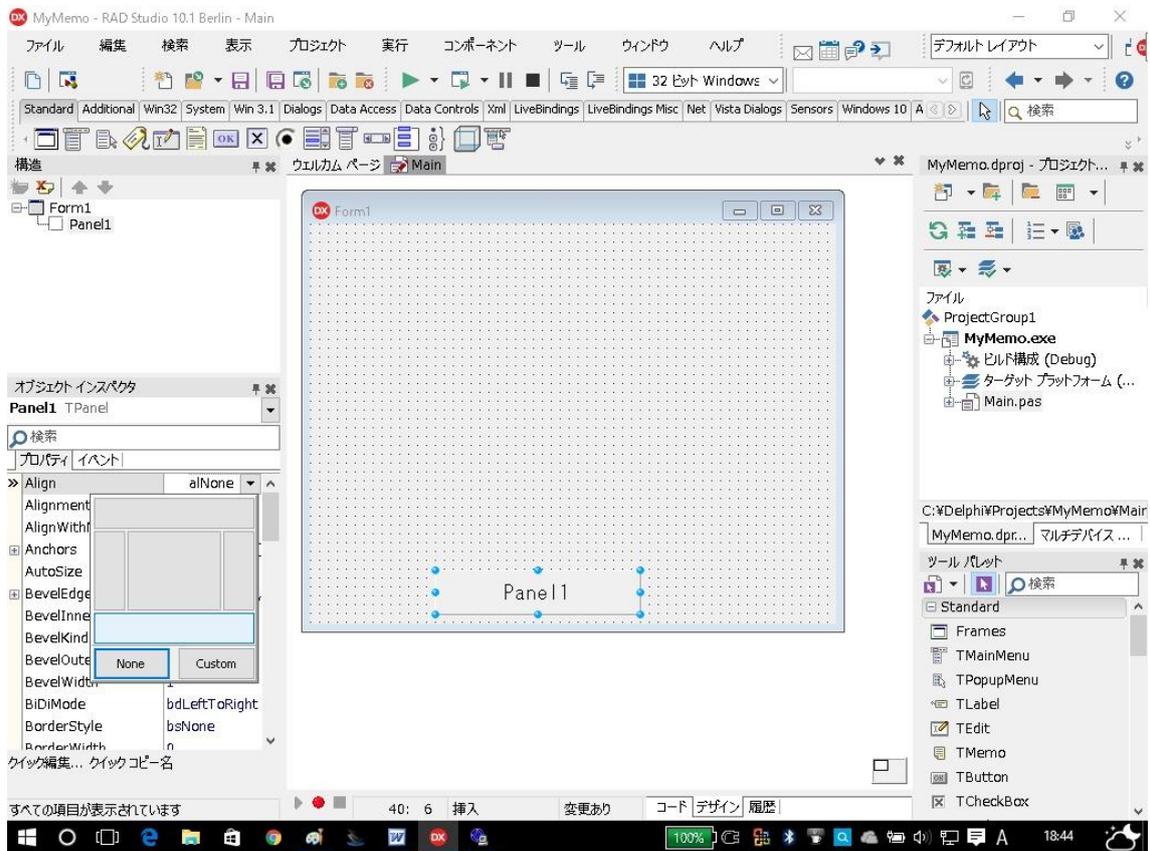
11: 「コンポーネント」の「Standard」タブの「パネル」をクリックします。



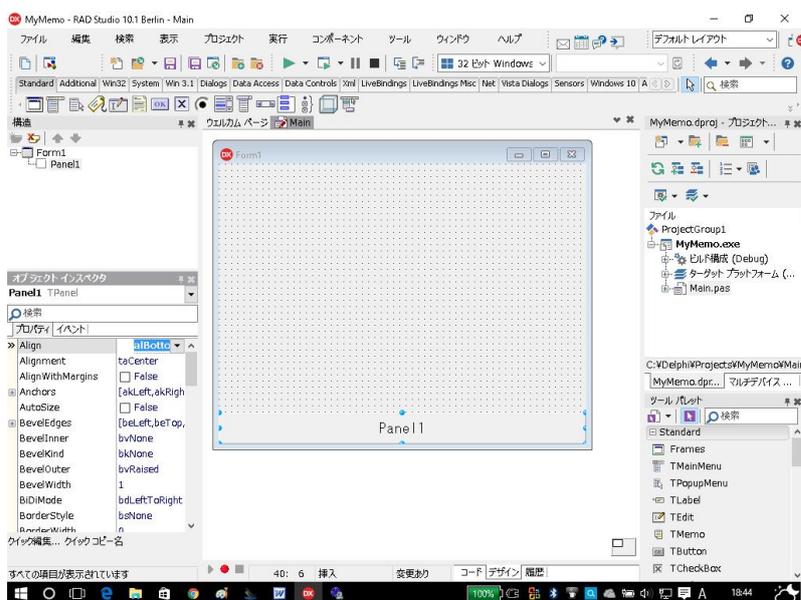
12: マウスを「フォーム」に移動してクリックを行うと「Panel1」が追加されます。



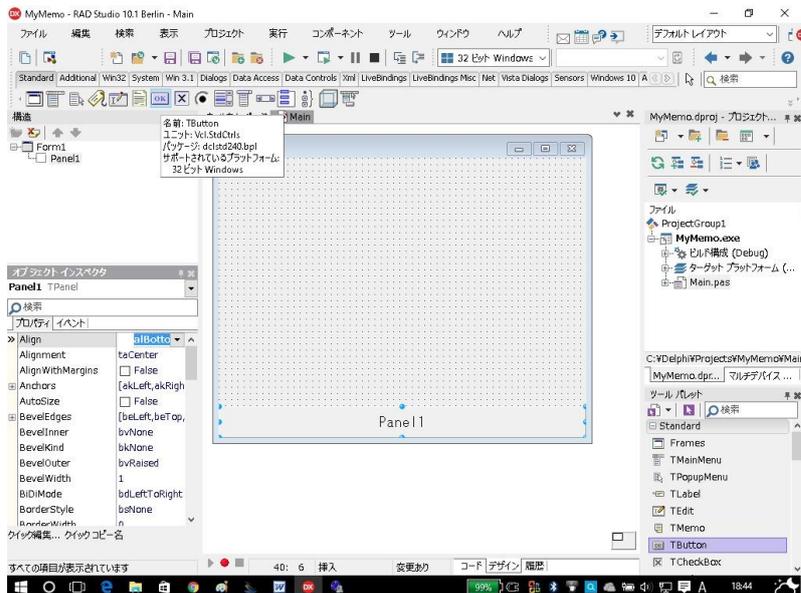
13: 「Panel1」をクリックして、左下の「オブジェクトインスペクタ」の「プロパティ」タブの「Align」をクリックして「Bottom」のエリアをクリックします。



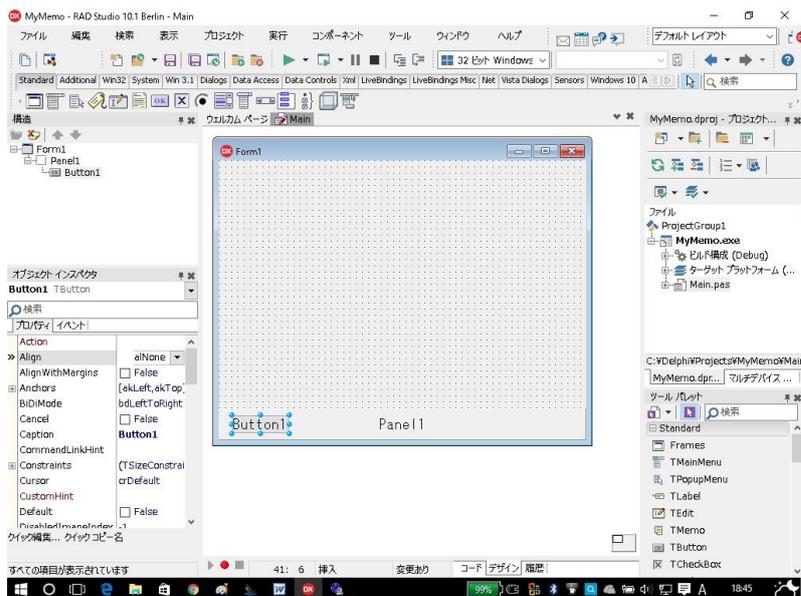
14: 最下段に設定されました。



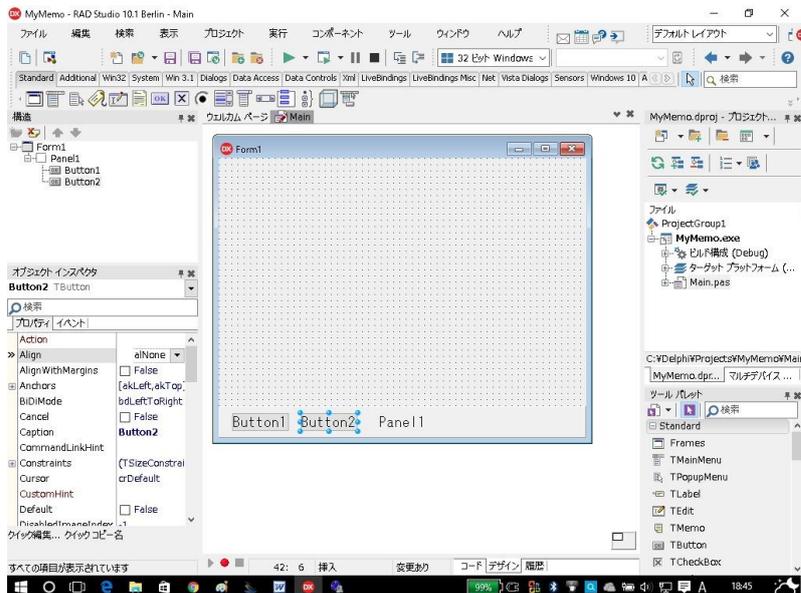
15: 「コンポーネント」の「Standard」タブの「ボタン」をクリックします。



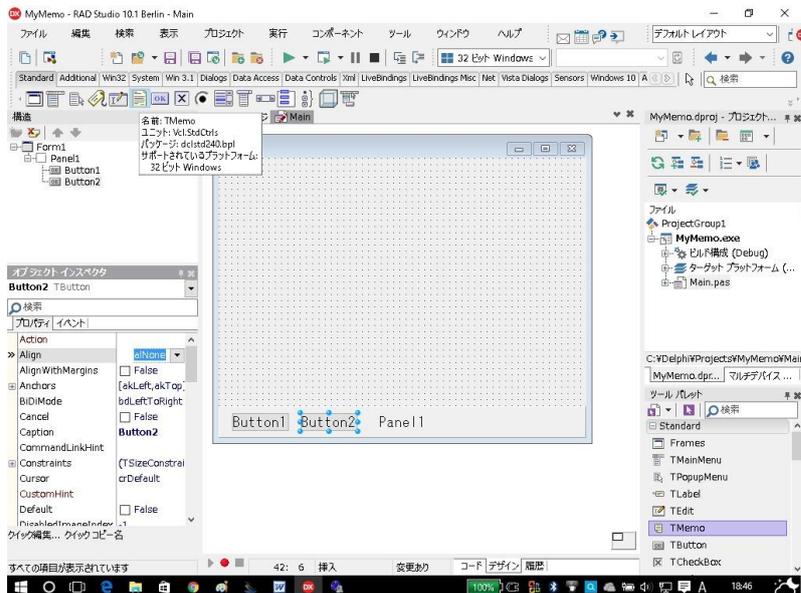
16: マウスを「Panel1」に移動してクリックを行うと「Button1」が追加されます。



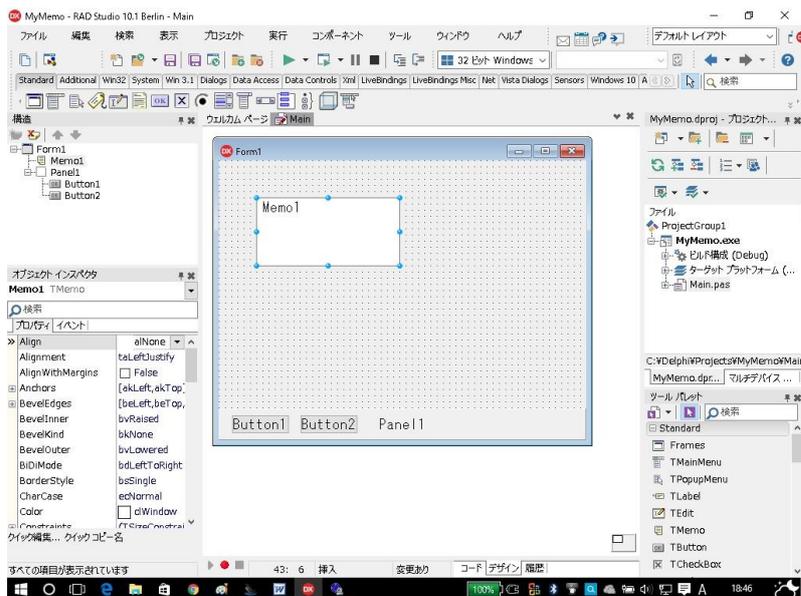
17: 同様にボタンをもう一個追加します「Button2」。



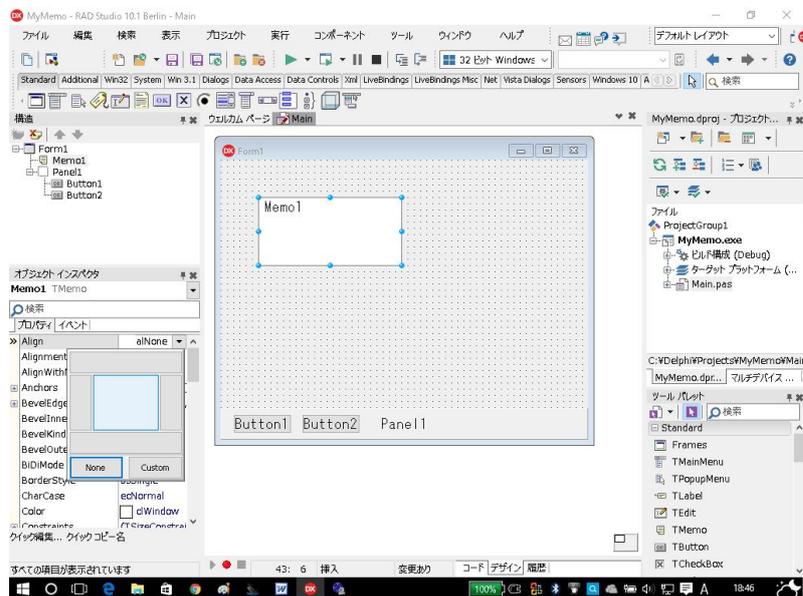
18: 「コンポーネント」の「Standard」タブの「Memo」をクリックします。



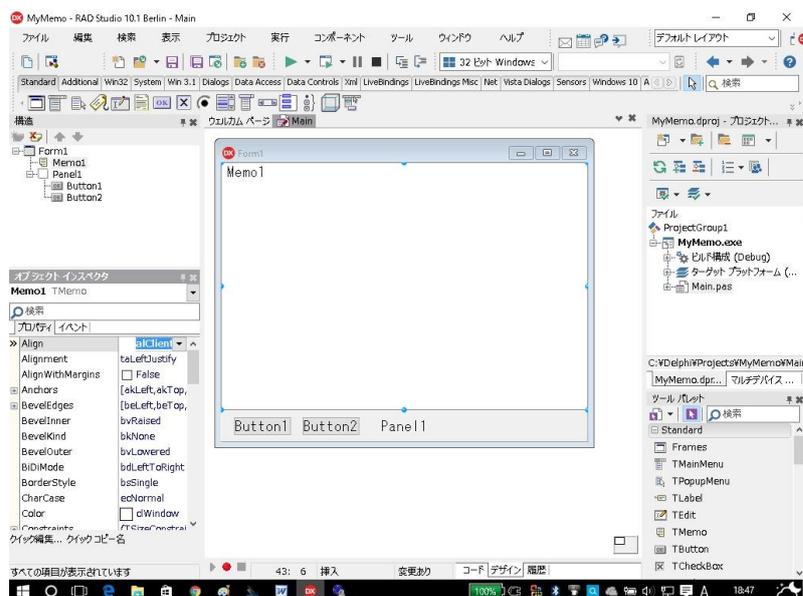
19: マウスを「フォーム」に移動してクリックを行うと「Memo1」が追加されます。



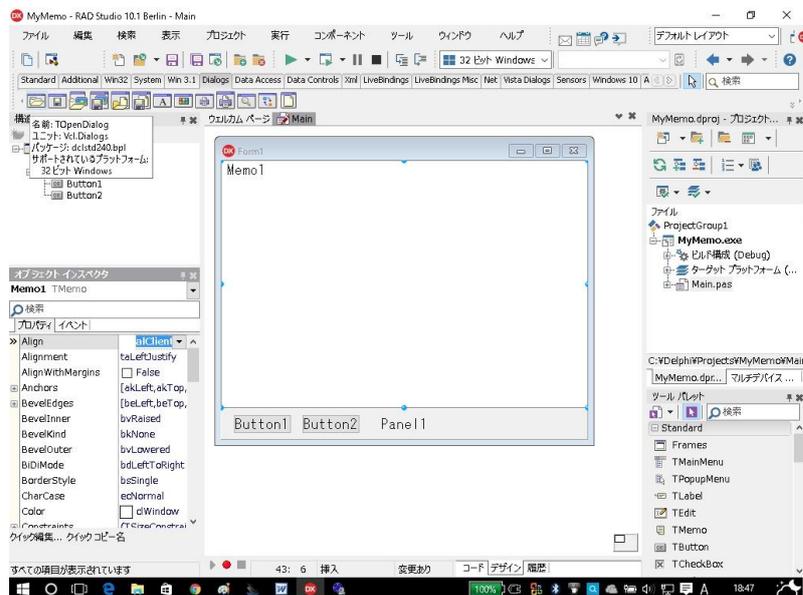
20 : 「Memo1」 をクリックして、左下の「オブジェクトインスペクタ」の「プロパティ」タブの「Align」をクリックして「Center」のエリアをクリックします。



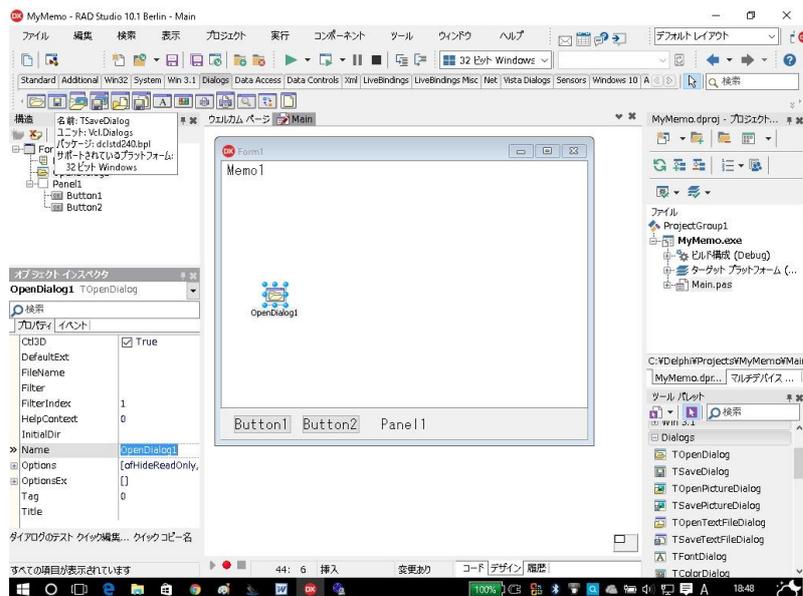
21 : 残り部分に設定されました。



22: 「コンポーネント」の「Dialog」タブの「OpenDialog」をクリックします。

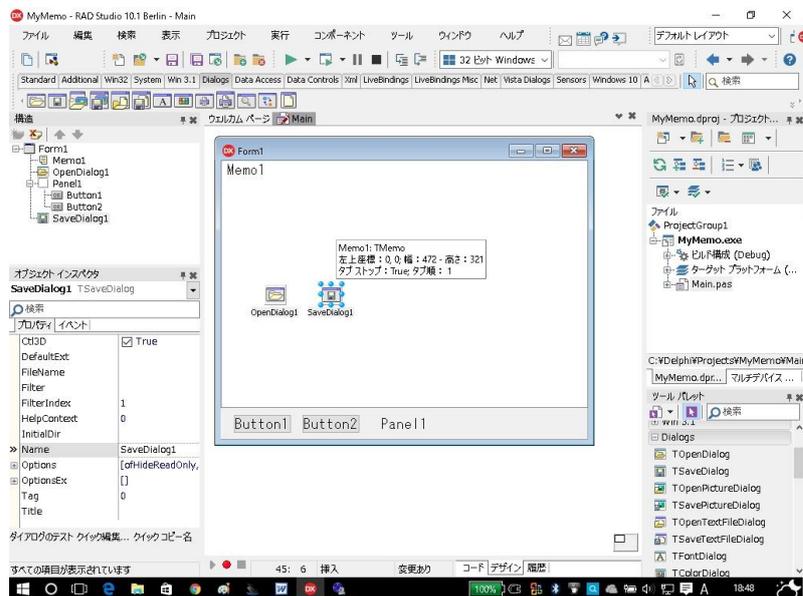


23: マウスを「フォーム」に移動してクリックを行うと「OpenDialog1」が追加されます。

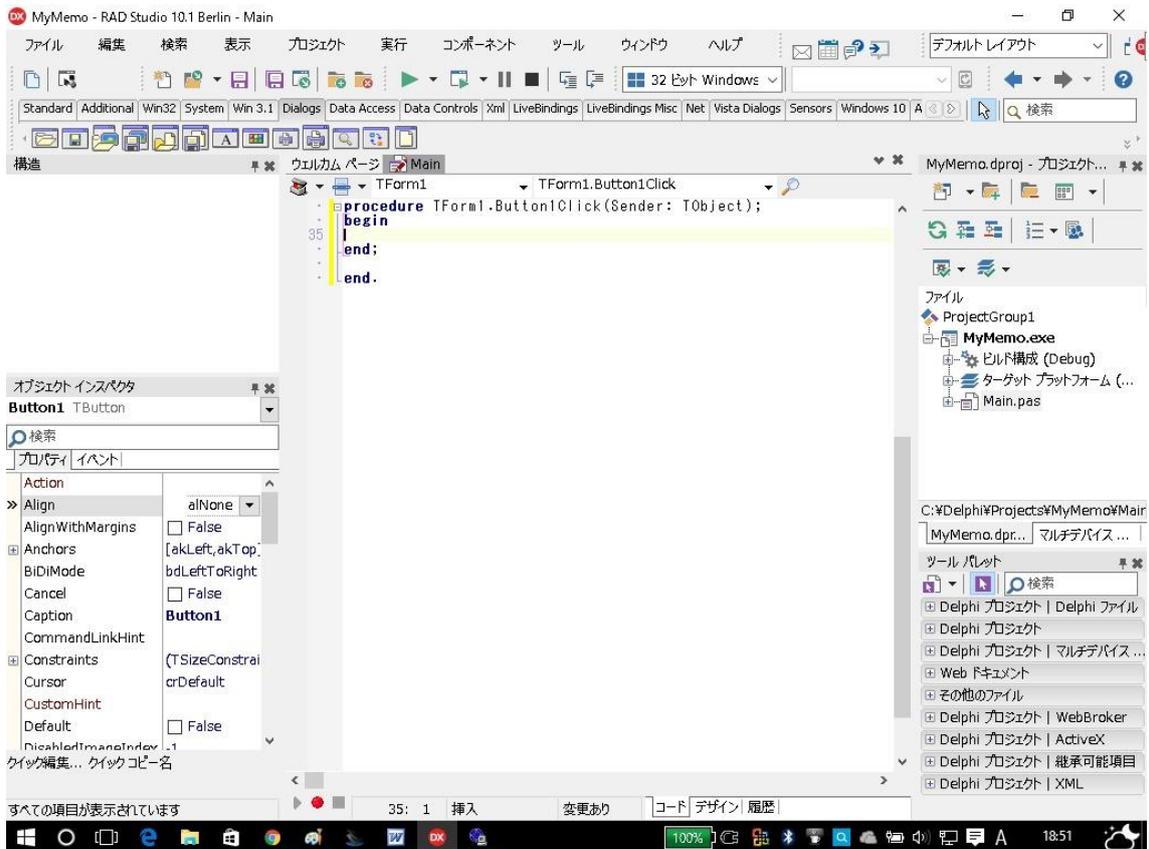


24 : 「コンポーネント」の「Dialog」タブの「SaveDialog」をクリックします。

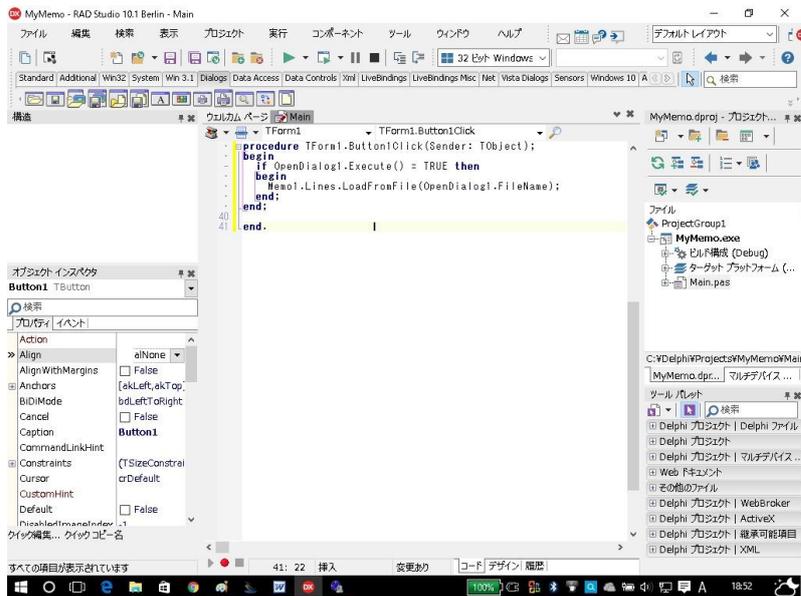
25 : マウスを「フォーム」に移動してクリックを行うと「SaveDialog1」が追加されます。



26: フォームの「Button1」をダブルクリックすると、コードが表示されます。

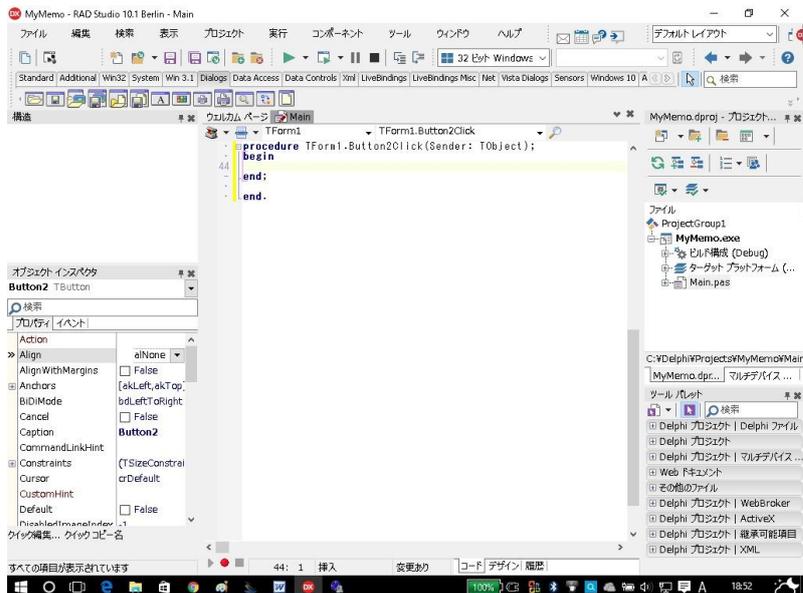


27 : 表示されたコードに処理を記述します。

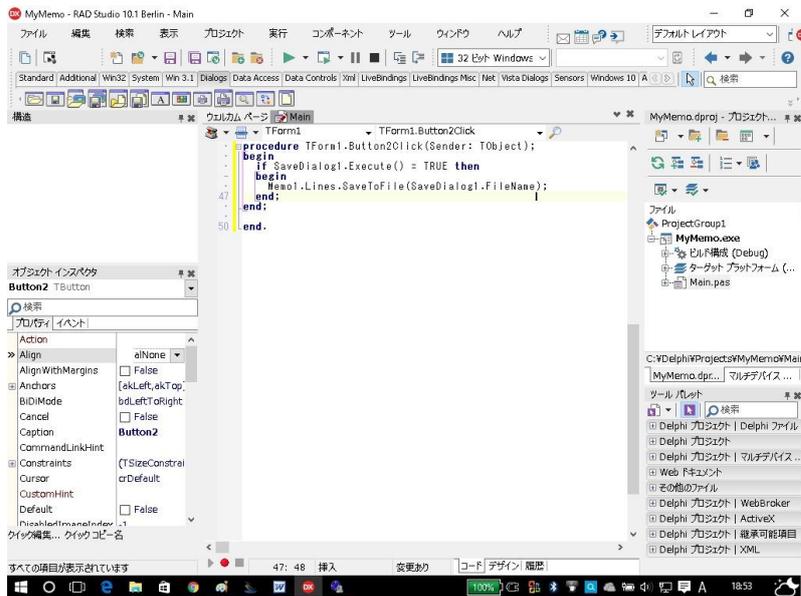


```
procedure TForm1.Button1Click(Sender: TObject);  
begin  
  if OpenFileDialog1.Execute() = TRUE then  
  begin  
    Memo1.Lines.LoadFromFile(OpenDialog1.FileName);  
  end;  
end;
```

28：フォームの「Button2」をダブルクリックすると、コードが表示されます。

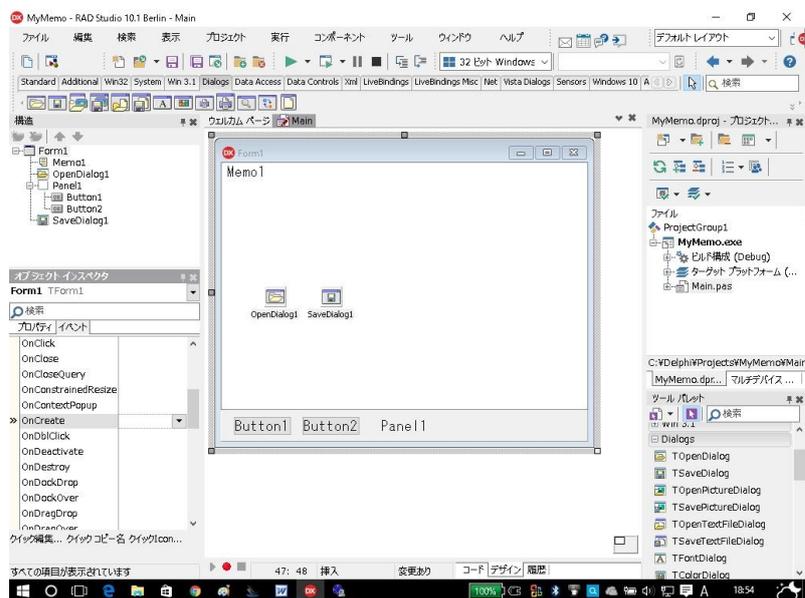


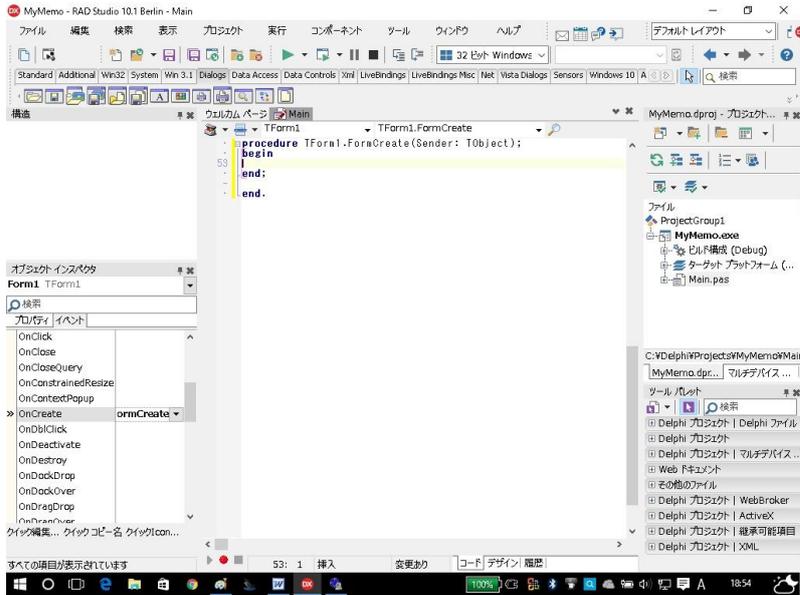
29 : 表示されたコードに処理を記述します。



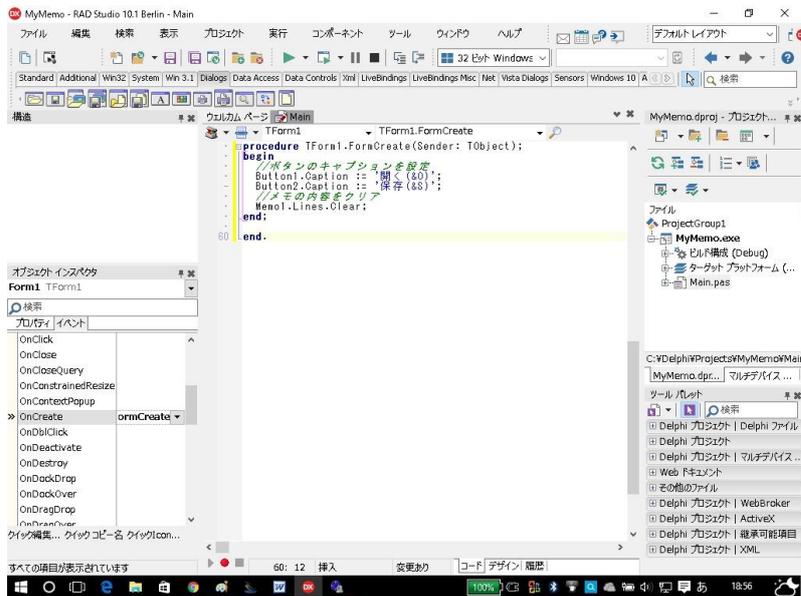
```
procedure TForm1.Button2Click(Sender: TObject);  
begin  
  if SaveDialog1.Execute() = TRUE then  
  begin  
    Memo1.Lines.SaveToFile(SaveDialog1.FileName);  
  end;  
end;
```

30: フォームを選択して、「オブジェクトインスペクタ」の「イベント」タブの「OnCreate」をダブルクリックすると、コードが表示されます。





31 : 表示されたコードに処理を記述します。



```
procedure TForm1.FormCreate(Sender: TObject);
```

```
begin
```

```
    //ボタンのキャプションを設定
```

```
    Button1.Caption := '開く(&O)';
```

```
    Button2.Caption := '保存(&S)';
```

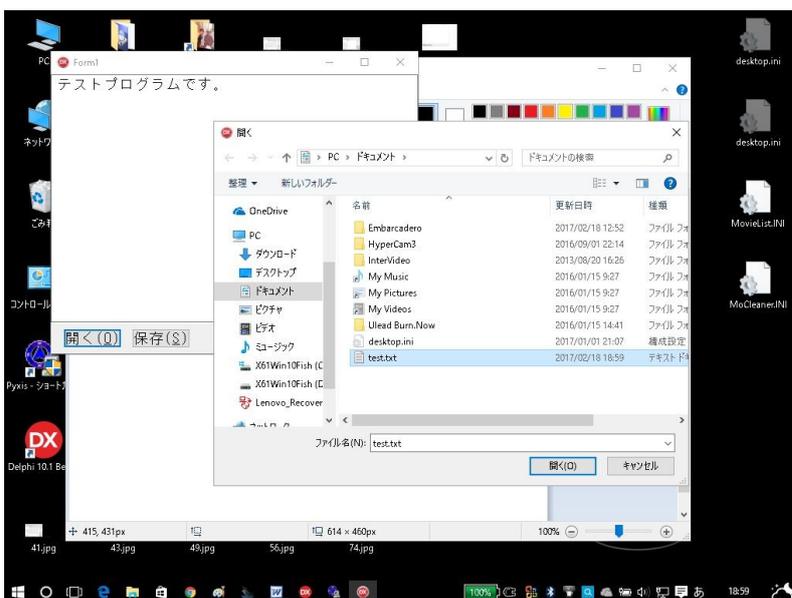
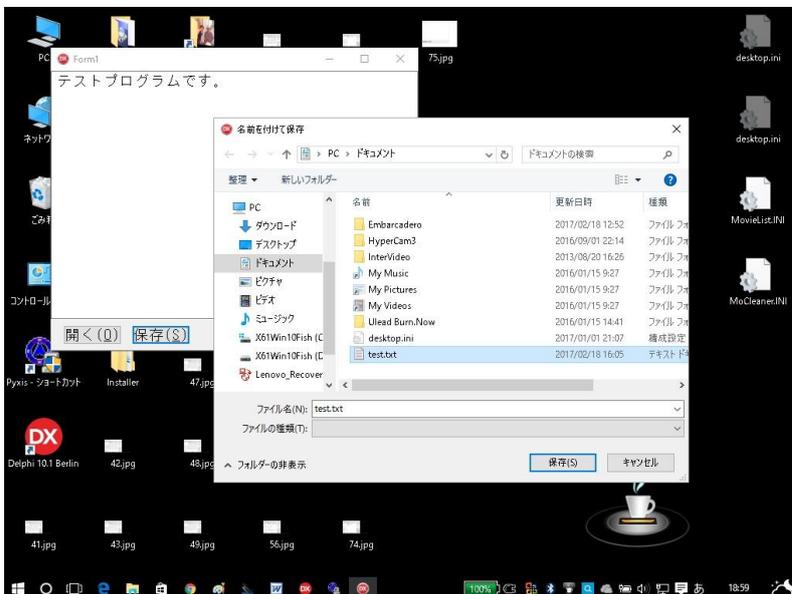
```
    Panel1.Caption := '';
```

```
    //メモの内容をクリア
```

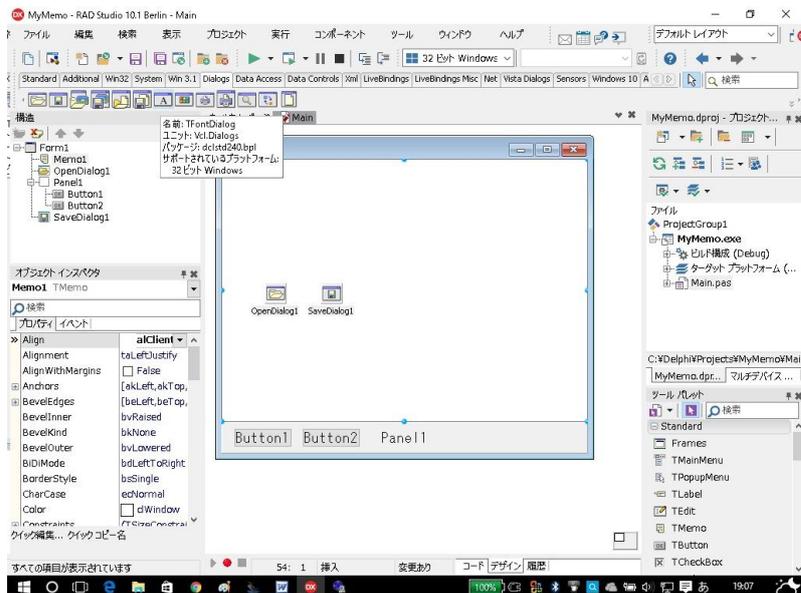
```
    Memo1.Lines.Clear;
```

```
end;
```

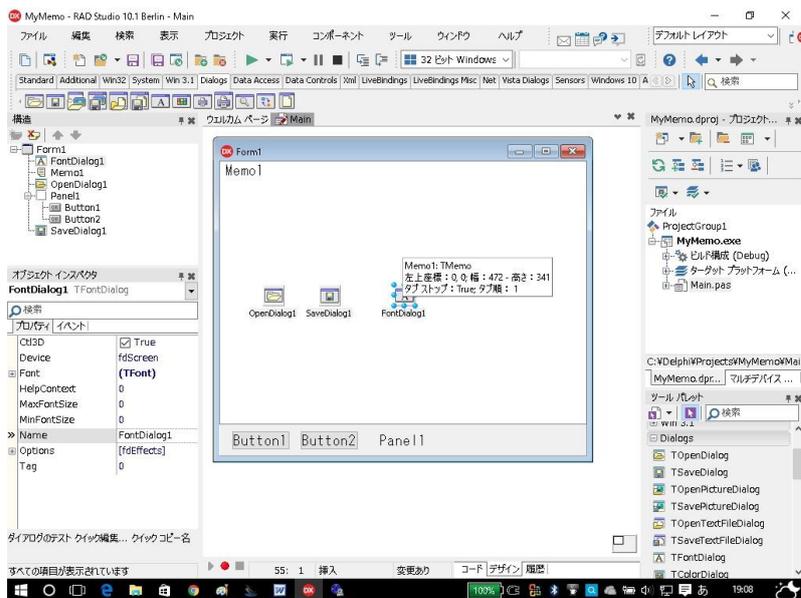
32: 「F9」のボタンを操作すると、コンパイルとリンクが実行され、エラーが無ければアプリケーションが実行されます。「開く」「保存」でメモの内容をファイルに保存したり開いたりできます。



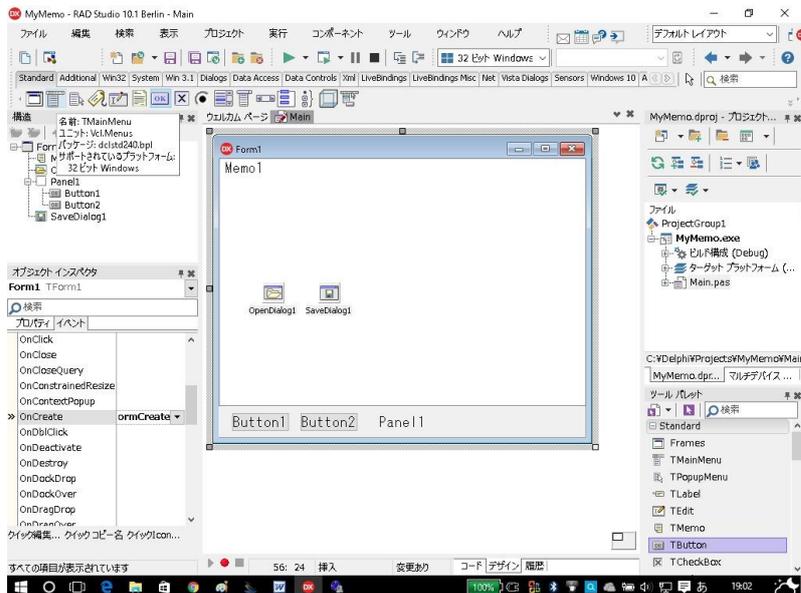
33 : 「コンポーネント」の「Dialog」タブの「FontDialog」をクリックします。



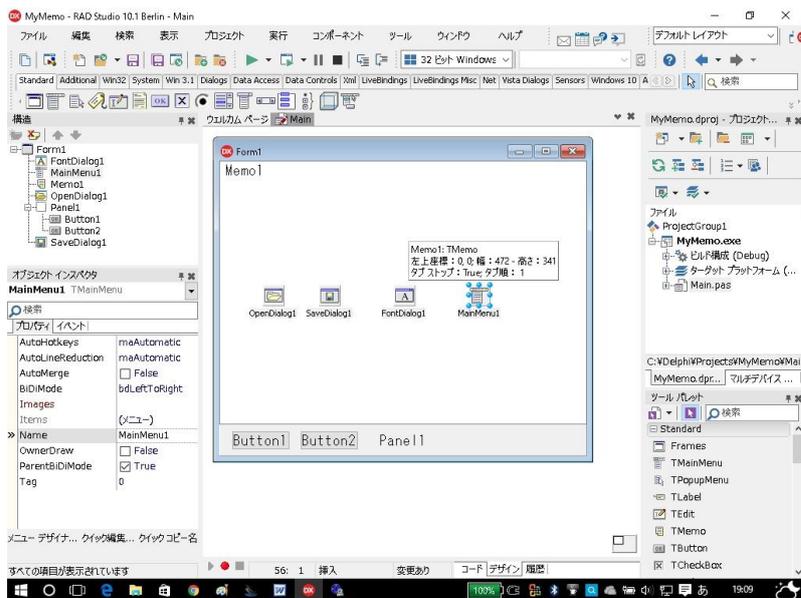
34 : マウスを「フォーム」に移動してクリックを行うと「FontDialog1」が追加されます。



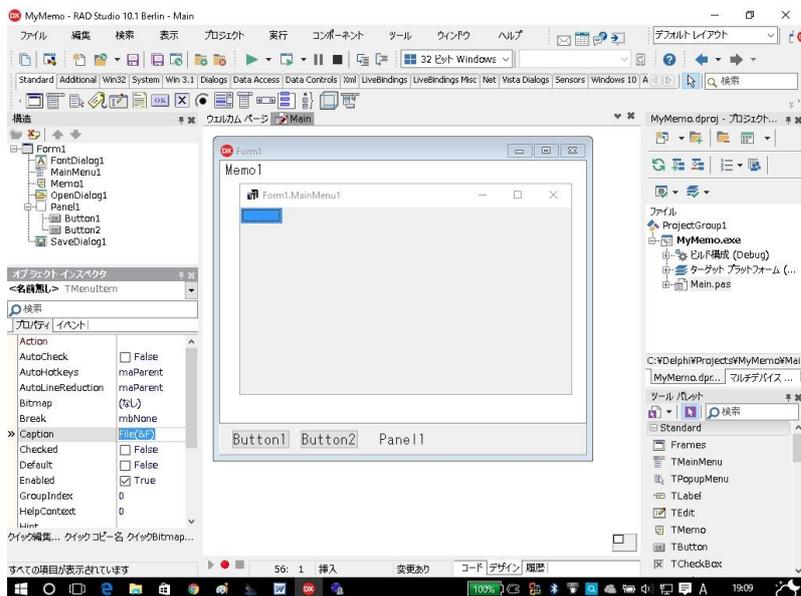
35 : 「コンポーネント」の「Standard」タブの「MainMenu」をクリックします。



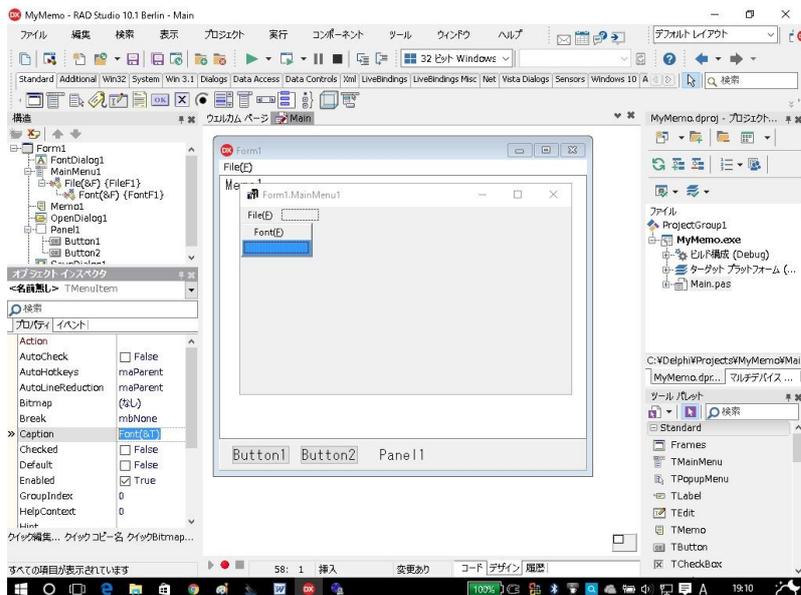
36 : マウスを「フォーム」に移動してクリックを行うと「Menu1」が追加されます。



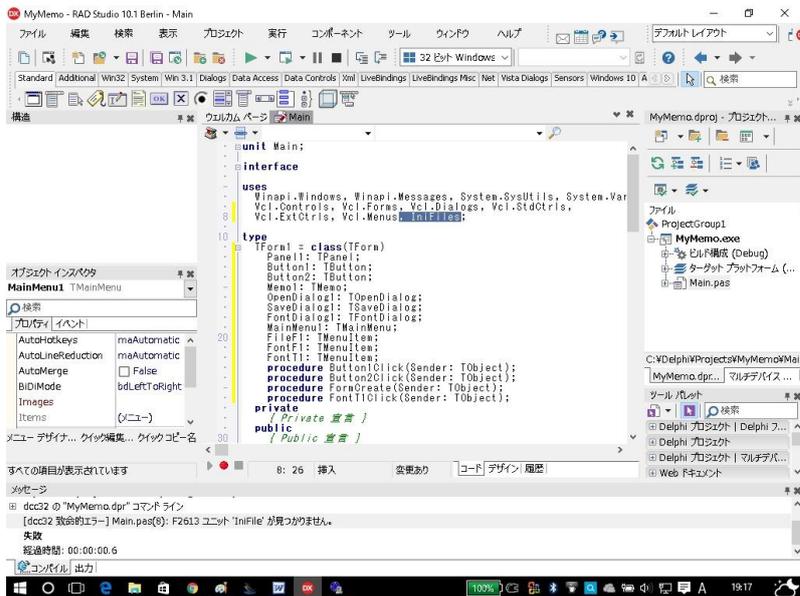
37: フォーム上も「Menu1」をダブルクリックするとメニュー設定が表示されますので、「ファイル」を設定します。



38: 同様に下の階層に「Font」を設定します。



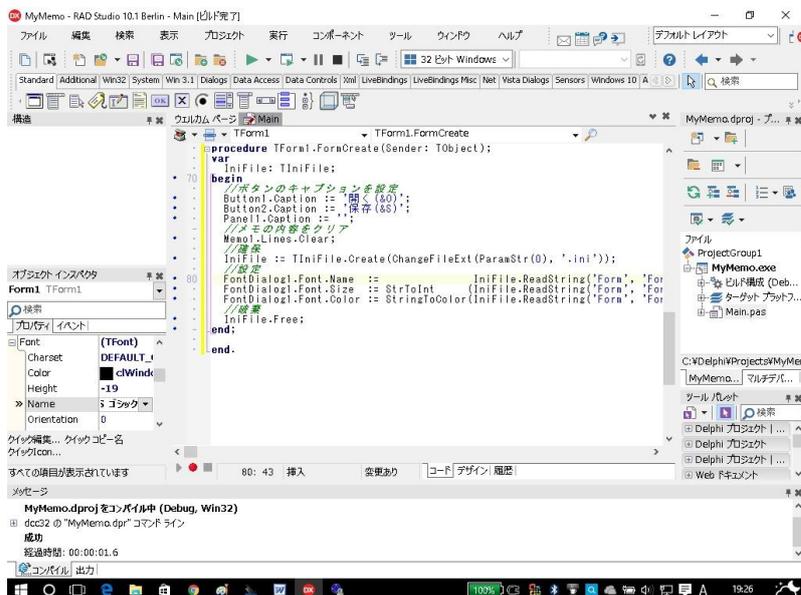
39 : INIファイルを使用したいので、uses に IniFiles を追加します。



uses

Winapi.Windows, Winapi.Messages, System.SysUtils,  
System.Variants, System.Classes, Vcl.Graphics,  
Vcl.Controls, Vcl.Forms, Vcl.Dialogs, Vcl.StdCtrls,  
Vcl.ExtCtrls, Vcl.Menus, **IniFiles**;

40 : INI ファイルの設定部分を追加します。



```
procedure TForm1.FormCreate(Sender: TObject);
```

```
var
```

```
  IniFile: TIniFile;
```

```
begin
```

```
  //ボタンのキャプションを設定
```

```
  Button1.Caption := '開く(&O)';
```

```
  Button2.Caption := '保存(&S)';
```

```
  Panel1.Caption := '';
```

```
  //メモの内容をクリア
```

```
  Memo1.Lines.Clear;
```

```
  //確保
```

```
  IniFile := TIniFile.Create(ChangeFileExt(ParamStr(0), '.ini'));
```

```
  //設定
```

```
  FontDialog1.Font.Name := IniFile.ReadString('Form', 'FontName', '
MS ゴシック');
```

```
  FontDialog1.Font.Size := StrToInt (IniFile.ReadString('Form', 'FontSize', '12'));
```

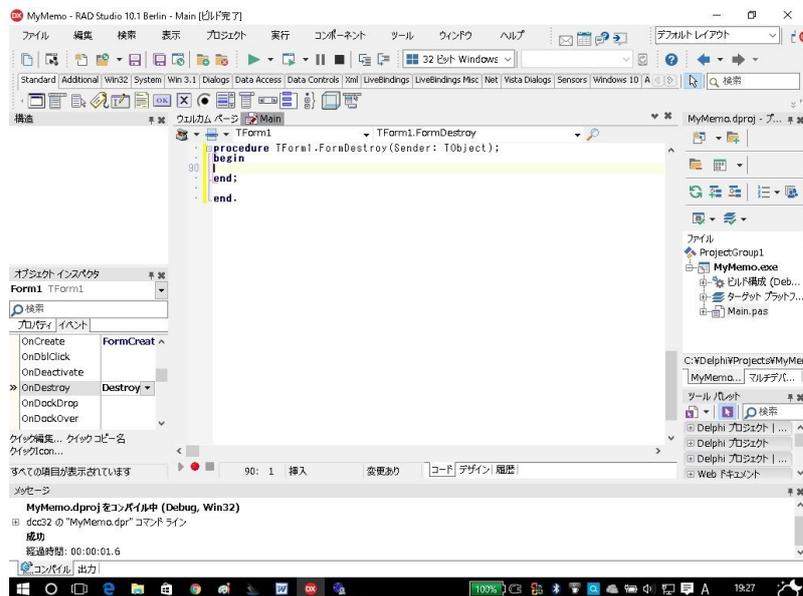
```
  FontDialog1.Font.Color := StringToColor(IniFile.ReadString('Form', 'FontColor',
ColorToString(clBlack)));
```

```
  //破棄
```

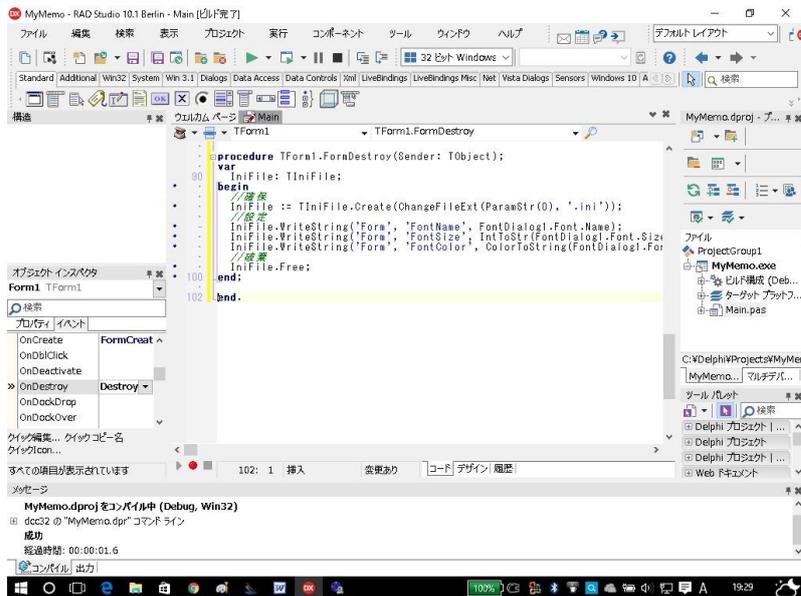
```
  IniFile.Free;
```

```
end;
```

41: フォームを選択して、「オブジェクトインスペクタ」の「イベント」タブの「OnDestroy」をダブルクリックすると、コードが表示されます。

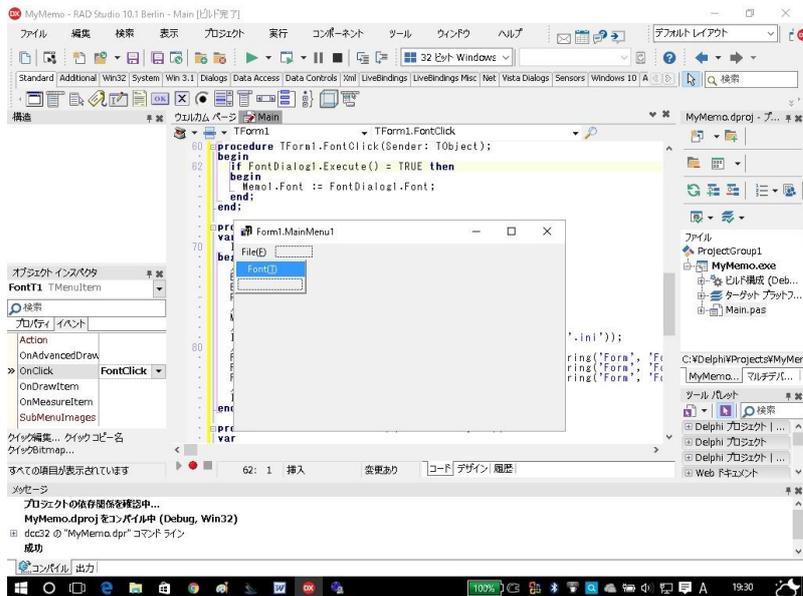


42 : INI ファイルの設定部分を追加します。



```
procedure TForm1.FormDestroy(Sender: TObject);
var
  IniFile: TIniFile;
begin
  //確保
  IniFile := TIniFile.Create(ChangeFileExt(ParamStr(0), '.ini'));
  //設定
  IniFile.WriteString('Form', 'FontName', FontDialog1.Font.Name);
  IniFile.WriteString('Form', 'FontSize', IntToStr(FontDialog1.Font.Size));
  IniFile.WriteString('Form', 'FontColor', ColorToString(FontDialog1.Font.Color));
  //破棄
  IniFile.Free;
end;
```

43 : メニューの「Font」をダブルクリックして、処理を追加します。



```
procedure TForm1.FontClick(Sender: TObject);
begin
  if FontDialog1.Execute() = TRUE then
  begin
    Memo1.Font := FontDialog1.Font;
  end;
end;
```

44 : 「F9」のボタンを操作すると、コンパイルとリンクが実行され、エラーが無ければアプリケーションが実行されます。メニュー部分が追加されています。

